

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名：八幡市

プロジェクト名	安心して暮らせる安全で快適なまちづくりプロジェクト		実施期間	平成25年度	テーマ	まちの安心・安全	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> ・台風18号大雨災害に対して迅速な復旧が必要である。 ・京都府指定の土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）に指定されている急傾斜地（がけ崩れ）について現況調査が必要である。 ・9月24日、乗用車が防護柵に乗り上げ、通学中の小学生の列に突っ込み5人が重軽傷を負った事故が発生した。 ・東日本大震災を教訓に、緊急防災備蓄品のさらなる充実が必要である。 ・高齢者を狙ったひったくりが続発し、防犯対策が必要である。 ・大地震に備え、木造住宅、公共施設の耐震改修を今後も実施することが必要である。 							
プロジェクトの目的及び概要	<ul style="list-style-type: none"> ・台風18号大雨災害に対応し、防災対策の充実に向けた取組を市民と一体となって進めていく。 ・土砂災害警戒区域等のデータ整理、対策方針の設定、対策全体計画を策定する。 ・街頭、駅前、公共施設に設置する防犯カメラにより、犯罪の防止を図る。 ・公共施設の耐震化のみならず、住宅等の耐震化を促進する。市民や自治会等との協働による、災害に強い安心・安全なまちづくりを目的とする。 							
	総事業費（千円）	158,933	本年度事業費（千円）	134,462	交付金額（千円）	14,149		
プロジェクトを構成する事業の平成25年度事業実績(出来高数値等)								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	台風18号大雨災害対応経費	交付対象事業	台風18号大雨災害対応経費(土のう・消毒噴霧器等、消防団出動手当増額)、かわきた自然運動公園・川口市民公園の災害復旧			土のう2,700袋、消毒噴霧器等		
	京都府指定の急傾斜地対策事業	交付対象事業	京都府指定の土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）に指定されている急傾斜地について現況調査を実施。土砂災害警戒区域等の対策方針を設定する。			急傾斜地調査33か所		
	交通安全「ゾーン30」整備	交付対象事業	京都府警と連携し、住居系地区で時速30km制限の「ゾーン30」の形成と境界整備を行い、歩行者・自転車の安全を確保するとともに、交通の円滑化を実現する。			八幡小学校周辺 22ha 路面表示、路側線設置、カラー舗装等		
	防犯カメラ設置事業	交付対象事業	京都府警や自治会からの強い要望により、犯罪の防止を目的に駅前や公園等に設置。			15か所設置		
	災害時対応車（4WD）新規購入	交付対象事業	災害時に、冠水した道路等を走行可能な車高の高い4WD車を購入する			災害時対応車（4WD） 1台		
	災害対応救急自動車更新	交付対象事業	緊急消防援助隊の自動車に登録し、遠方での災害に出動できる体制を強化する。			高規格救急車 1台		
	消防ポンプ自動車	交付対象事業	約22年経過した消防ポンプ自動車（CD-1型）を更新する。			消防ポンプ自動車 1台		
	緊急防災備蓄品整備事業	交付対象事業	災害にそなえ、防災備蓄品を配備する。			水、アルファ米、クラッカー、災害用トイレ、排便セット等毛布（市内7施設分）		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名：八幡市

	八幡人權・交流センター雨水排水設備改修	交付対象事業	局地的な大雨への対応を強化するため八幡人權・交流センター雨水排水設備を強化する。	雨水排水設備改修工事	
	公共施設耐震診断事業	交付対象事業	有都交流センター、福祉センター、南ヶ丘児童センター、南ヶ丘教育集会所、八幡市民図書館の耐震診断・実施設計	有都交流センター、福祉センター、南ヶ丘児童センター、南ヶ丘教育集会所、八幡市民図書館耐震診断・耐震判断・実施設計	
	みその保育園耐震補強事業	交付対象事業	安全・安心の子育て環境の充実のため、みその保育園耐震化の実施設計	園舎 1,121㎡	
	倒壊家屋救助作業用支柱固定器具の新規購入	交付対象事業	倒壊する危険がある家屋の中に救助を要する場合に崩落を防ぐ支柱固定器具を新規購入する。	1基	
	公園事故防止、公園施設管理システム導入事業	交付対象事業	遊具等の情報を正確に把握・管理するシステムを導入し効果的な補修・管理を行うことにより、施設の長寿命化及び公園事故の防止を図る。	公園施設管理システム導入	
住民協働事業	災害時要援護者支援台帳・支援システム導入経費	交付対象事業	災害時要援護者の地図情報出力、帳票出力、安否確認処理、民生委員情報等を管理するシステムを構築	災害時要援護者支援システム導入	
住民が取り組む事業	雨水貯留施設設置助成金	交付対象事業	市街地への浸水対策だけでなく、樹木の水やりや打ち水にも使うことができる「雨水貯留施設」の設置に要する経費への助成制度を新設。	対象タンク本体及び付属品の1/2相当額 上限30千円 件数47件	
	ブロック塀等対策助成	交付対象事業	ブロック塀等除去に要する経費の全額、生垣設置に要する経費の1/2を助成	ブロック塀除去 3件	
	木造住宅耐震診断事業	関連事業	耐震診断士派遣 診断結果をもとに改修計画の提案	耐震診断士派遣 29件	
	木造住宅耐震改修助成事業	関連事業	耐震性が不十分と判定された木造住宅の耐震改修経費に助成	助成件数 20件	
	被災者住宅等支援事業	関連事業	台風18号により、床上浸水等の被害を受けた住宅の居住者に対し補修費用等、再建に要する経費を助成	助成件数 16件	
成果指標①	成果指標の目標数値	雨水貯留施設設置助成件数 0件 → 50件		成果指標の実績値 (26年4月1日時点)	47件
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	雨水貯留施設の設置を助成した。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名：八幡市

成果指標 ②	成果指標の目標数値	防犯カメラ設置 15台 → 30台		成果指標の実績値 (26年4月1日時点)	30台	
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	京都府警や自治会からの要望により、15か所に防犯カメラを設置した。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
成果指標 ③	成果指標の目標数値	住居系地区で30km/hの「ゾーン」の形成 0 → 22ha		成果指標の実績値 (26年4月1日時点)	22ha (地域内 平均車両通行速度 28.4km/h)	
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	30km/hの「ゾーン」を形成することにより、当該区域内における平均車両通行速度が規制前の35.4km/hから 28.4km/hと減少し、住民の安心、安全の確保に貢献した。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)	
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果	雨水貯留施設設置助成を25年度から実施することにより、災害に強いまちへ、また防犯カメラ設置、ゾーン30を整備することにより安全なまちへ寄与することができた。					
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。					
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	関連事業の木造住宅耐震診断事業、木造住宅耐震改修助成事業により市民とともに八幡市全体で減災の意識を高めていく。				
	府と市町村等との連携に資する成果	防犯カメラについては、八幡署と協議を行い、今後も京都府警の協力のもと安心・安全のまちづくりに努める。				
	住民の自治意識を高める成果	防犯カメラ設置は、住民の犯罪防止の意識の向上に寄与した。				
	広域的波及成果	住居系地区で30km/hの「ゾーン」を形成したことにより、車・バイクと人との交通事故の抑止効果になる。				

(記載要領)

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは○、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。